

事 務 連 絡
平成25年11月25日

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会
東京都支部長 殿

東京労働局労働基準部
安全課長

年末年始における交通労働災害防止に向けた取組の強化について（要請）

日頃より労働基準行政とりわけ労働災害防止に特段のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

東京労働局では、「第12次東京労働局労働災害防止計画（以下「12次防計画」という。）」を4月からスタートさせ、「Safe Work TOKYO」をキャッチフレーズに、官民一体で災害防止に取り組んでいるところです。

12次防計画は、基本目標として「死亡災害は過去最少の53人を下回ること、休業4日以上死傷者数は8000人を下回ること」を掲げて、労働災害の大幅な減少を図ることとしています。

東京労働局管内における道路での交通労働災害による被災者数をみますと、本年の死亡災害は10月末現在で4人となっており、昨年同期の11人と比べ大幅に減少しています。しかし、休業4日以上死傷者数でみますと本年は581人に上っており、昨年同期の563人と比べ3.2%の増加となっており、引き続き交通労働災害防止の徹底を図っていくことが必要となっています。

これから年末年始を迎えますが、特に年末年始はあわただしく、生活のリズムも変わりやすい時期となります。忙しさから時間的に余裕のない状況での車の運転や体調がすぐれない状態での運転を強いられることも考えられ、これらによる交通労働災害の発生も懸念されるところです。

年末年始における労働災害防止については、下記1のとおり、各労働災害防止団体等の運動において、交通労働災害防止を含めて取組まれるところです。これらの運動にご参加いただき、交通労働災害防止についても「交通労働災害防止のためのガイドライン」を基本に積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

つきましては、下記2～5のとおり東京労働局管内における交通労働災害発生状況、死亡災害事例について情報提供させていただきますので、会員事業場にご周知いただき、交通労働災害防止の徹底を図っていただきますようお願いいたします。

記

1 年末年始の労働災害運動

(1) 「平成25年 TOKYO 交通安全キャンペーン」

期間：平成25年12月1日～7日

主唱者等：首都交通対策協議会（会長 猪瀬直樹）

（東京労働局も安全衛生部会幹事）

(2) 「平成 25 年度 年末年始無災害運動」

期間：平成 25 年 12 月 15 日～平成 26 年 1 月 15 日

主催者等：中央労働災害防止協会

(3) 「平成 25 年度 建設業年末年始労働災害防止強調期間」

期間：平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 1 月 15 日

主唱者等：建設業労働災害防止協会

(4) 「平成 25 年度 陸上貨物運送事業 年末・年始労働災害防止強調運動」

期間：平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日

主唱者等：陸上貨物運送事業労働災害防止協会

(5) 「平成 25 年度 年末年始港湾無災害強調期間」

期間：平成 25 年 12 月 16 日～平成 26 年 1 月 15 日

主唱者等：港湾貨物運送事業労働災害防止協会

2 東京労働局管内における交通労働災害(道路) 発生状況

別添の表 1 のとおり

3 平成 25 年における東京労働局管内発生交通労働災害事例（死亡災害）

別添の表 2 のとおり

4 平成 24 年における東京労働局管内発生交通労働災害事例（死亡災害）

別添の表 3 のとおり

5 平成 23 年における東京労働局管内発生交通労働災害事例（死亡災害）

別添の表 4 のとおり

東京労働局



第	1	2	次	推
労	働	災	害	進
防	止	計	画	中

東京労働局労働基準部安全課

〒102-8306

東京都千代田区九段南 1-2-1

九段第三合同庁舎 13F

担当 山根

電話 03-3512-1615

別添

表1 東京労働局管内における交通労働災害(道路) 発生状況

	平成 24 年	平成 25 年 (10 月末現在)
死亡者数	15 人 (全体 82 人)	4 人 (全体 35 人)
		前年同期 11 人 (全体 58 人)
	内訳 運輸交通業 7 人、製造業 3 人、商業 3 人他	内訳 建設業 2 人、第三次産業 2 人、
休業 4 日以上 の死傷者数	794 人 (全体 9782 人)	581 人 (全体 6830 人)
		前年同期 563 人 (全体 7037 人)
	内訳 運輸交通業 322 人、商業 129 人、保健衛生業 66 人他)	(内訳: 運輸交通業 248 人、商業 87 人、保健衛生業 39 人他)

表2 平成 25 年における東京労働局管内発生交通労働災害事例 (死亡災害)

	発 生 月	業種 職種 年齢・経験	発生状況 事故の型・起因物
1	2 月	その他の事業 管理者 50 歳代 35 年以上 40 年未満	自宅から出張先に向かうため自転車で移動中、道路交差点を横断しようとしたところ、 <u>右方より進行してきた乗用車に追突され、頭部を強打された。</u> (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
2	6 月	その他の建設業 とび工 10 歳代・1 年以上 5 年未満	栃木県内にある一次下請会社にて 6 人が集合し、ワンボックスカーで渋谷区の新築工事現場に出発した。埼玉県内の東北自動車道上り線のパーキングエリア近くの追い越し車線を走行中、 <u>ワンボックスカーの右後輪が破裂したため、蛇行し、道路左わきの高さ 6 m の非常電話の支柱に激突した。</u> (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
3	8 月	警備業 警備員 60 歳代 1 年以上 5 年未満	高架橋の耐振補強工事現場において、片側交互通行作業帯を設置し、作業を行っていたところ、横断歩道の歩行者誘導を行っていた誘導員(警備員)が <u>突進してきた乗用車にひかれ、当該乗用車と作業エリア内に停車させていた積載型トラッククレーンに挟まれた。</u>
4	9 月	その他の建設業 防水工 20 歳代 5 年以上 10 年未満	横浜市内の事業場へ集合し、社用車で都内の新築工事現場に出発した。横浜新道を走行中、 <u>左カーブを曲がる際、後輪が滑り、道路左側のガードレールに衝突して、運転手が車外に投げ出されて死亡した。</u>

表3 平成24年における東京労働局管内発生交通労働災害事例（死亡災害）

	発生月	業種 職種 年齢・経験	発生状況 事故の型・起因物
1	1月	道路貨物運送業 貨物自動車運転者 60歳代 5年以上10年未満	被災者は、東北地方の高速道路をトラックで走行していたところ、午前5時ごろ、 <u>路面が凍結していたためスリップ</u> して対向車線へ出てしまい、対向車線を走行していた車両と正面衝突した (交通事故(道路)・トラック)
2	1月	卸売業 営業・販売関連事務員 30歳代 15年以上20年未満	営業車で首都高速道路を走行し、渋滞のため停車したところ、 <u>後続車両に時速約70kmで追突された</u> 。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
3	1月	その他の事業 その他の職種 30歳代 10年以上15年未満	被災者は、午前5時ごろ、自動車を運転して東北自動車道を走行していたところ、 <u>降雪等の影響でスリップし、中央分離帯に激突した。被災者は、自ら車外へ出て携帯電話で警察等へ連絡していたが、その時に別の車両に追突された</u> 。自分の車の反対側にいた被災者は、その衝撃で跳ね飛ばされた。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
4	2月	道路貨物運送業 貨物自動車運転者 40歳代 5年以上10年未満	被災者は、片側2車線道路を、貨物自動車を運転して走行していたところ、中央分離帯の伐採作業を行うために <u>中央側の車線に停車していた貨物自動車に、追突した</u> 。 (交通事故(道路)・トラック)
5	3月	道路貨物運送業 貨物自動車運転者 30歳代 5年以上10年未満	深夜、片側3車線の高速道路において、中央分離帯側の追い越し車線と中央の走行車線に3台のトラックが停車し、被災者を含む運転手3名が <u>路上で口論していたところ、別のトラックが追突した</u> 。 (交通事故(道路)・トラック)
6	3月	道路旅客運送業 乗用自動車運転者 40歳代 1年以上5年未満	被災者を含む運転者2名(交代で運転)でハイヤーを運転して高速道路を走行中、乗客の都合で、サービスエリア出口の合流車線の <u>路肩に停車していたところ、サービスエリアから出てきたトラックに追突された</u> 。被災者は、運転席の後ろの座席で休んでいた。 (交通事故(道路)・トラック)
7	5月	輸送用機械器具製造業 管理者 40歳代 25年以上30年未満	被災者は、乗用車を運転して取引先へ行き製品を受け取った後、事業場へ戻るために片側一車線の道路を走行していたところ、 <u>被災者の自動車が対向車線に飛び出し、前から来た自動車と正面衝突した</u> 。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
8	6月	輸送用機械器具製造業 その他の職種 60歳代 5年以上10年未満	被災者は、出張先へ向かうため、乗用車で高速道路を走行していた。トンネル内で自損事故を起こし、その後、 <u>車外に出ていたところ、後方から走行してきた大型トラックにはねられた</u> 。 (交通事故(道路)・トラック)
9	6月	道路旅客運送業 乗用自動車運転者 50歳代 10年以上15年未満	被災者は、タクシーに乗務していたが、停車して車から出たときに車が前方へ動き出した。止めようとして運転席に身体を半分入れたところで、ドアが電柱に接触して閉まり、 <u>ドアと車体の間に挟まれた</u> 。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)

10	6月	道路旅客運送業 乗用自動車運転者 50歳代 10年以上15年未満	被災者は、タクシーに乗務していたが、停車して車から出たときに車が前方へ動き出した。止めようとして運転席に身体を半分入れたところで、 <u>ドアが電柱に接触して閉まり、ドアと車体の間に挟まれた。</u> (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
11	7月	その他の商業 作業員・技能者 30歳代 5年以上10年未満	被災者は、営業で客先へ向かうため、乗用車で高速道路を走行していた。追い越し車線の舗装工事のための車線規制の影響で渋滞が発生し、 <u>渋滞の最後尾にいた被災者の車に、大型トラックが追突した。</u> (交通事故(道路)・トラック)
12	8月	一般機械器具製造業 分類不能 50歳代 30年以上35年未満	被災者は、自家用の三輪バイクを運転して自宅から出張先へ行き、その後出張先から事業場に向かっていたところ、 <u>対向車線を走行していた軽自動車がセンターラインを越え、被災者の前を走行していた乗用車に接触した後、被災者の三輪バイクに正面衝突した。</u> (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
13	9月	卸売業 営業・販売関連事務員 30歳代 5年以上10年未満	被災者は、製品輸送のクレーム対応のため休日に会社へ書類を取りに行き、 <u>自転車で戻る際に乗用車と接触した。</u> (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
14	10月	道路貨物運送業 貨物自動車運転者 70歳代 10年以上15年未満	被災者は、貨物自動車を降りて公道を歩行していたところ、道路に駐車しようとして <u>バックしてきた10トントラックにひかれた。</u> (交通事故(道路)・トラック)
15	11月	その他の建設業 電工 30歳代 1年以上5年未満	被災者は、午後8時ごろ、工事現場から会社へ戻るため高所作業車を運転して高速道路を走行していたところ、 <u>雨で路面が濡れていたため後輪がスリップし、左側のガードレールに衝突したあと横転した。</u> (交通事故(道路)・高所作業車)
16	12月	道路貨物運送業 運転者 20歳代 1年以上5年未満	被災者は、午後22時ごろ、配送業務が終了したので <u>トラックを運転して車庫に戻る途中、作業中の清掃作業車に追突した。</u> (交通事故(道路)・トラック)

表4 平成23年における東京労働局管内発生交通労働災害事例（死亡災害）

	発生月	業種 職種 年齢・経験	発生状況 事故の型・起因物
1	1月	その他の事業 一般事務員 30歳代 1年未満	被災者は、書類を郵送するため郵便局へ向かう途中、鉄道の踏切が遮断中であるにもかかわらず、 <u>渡ろうとして遮断機を手で下げて踏切に進入したところ、電車で激突された。</u> 当時、電車のタイヤが乱れており遮断機がなかなか開かない状況だった。 (交通事故(その他)・鉄道車両)
2	2月	卸売業 配達員 50歳代 10年以上15年未満	被災者は、栃木県内の工場へ製品を引き取りに行くためトラックを運転して向っていたところ、午前4時55分ごろ、栃木県内で、道路の左側の約2m下の空き地にトラックが転落した。当日は <u>雪が降っており、スリップ</u> したと推定される。 (交通事故(道路)・トラック)

3	3月	清掃と畜業 技術者 40歳代 1年未満	被災者らは、3名で会社の車に同乗して出張から会社へ戻る途中、高速道路で <u>センターラインをオーバーして対向車と衝突</u> し、2名が死亡、1名が重傷を負った。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
4	3月	清掃と畜業 技術者 60歳代 5年以上10年未満	同上 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
5	4月	建築工事業 内装工 20歳代 1年未満	大阪府内の事業場から3名でトラックに同乗し、被災者が運転して、東京都内の現場へ向かう途中、高速道路のカーブで <u>中央分離帯に激突</u> し、さらにその弾みで反対側のコンクリート壁に激突して、被災者は脳挫傷により死亡し、他の2名も負傷した。 (交通事故(道路)・トラック)
6	6月	その他の商業 その他の職種 40歳代 1年以上5年未満	会社主催のバイクツーリングイベントにおいて、被災者は、参加者の案内役として <u>バイクで走行していたところ転倒</u> し、道路脇の標示板に衝突した。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
7	6月	その他の事業 その他の職種 30歳代 15年以上20年未満	被災者は、バイク雑誌の取材のため、農業集落道(農道的一种)を <u>バイクで走行中</u> 、左にカーブしているところで、 <u>センターラインを越えてきた対向車に衝突</u> した。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
8	6月	金融業 作業員・技能者 50歳代 25年以上30年未満	被災者は、出張先から戻るため駅に向かう途中、 <u>横断歩道を通行中に乗用車にはねられた</u> 。 (交通事故(道路)・乗用車、バス、バイク)
9	8月	印刷製本業 技術者 30歳代 15年以上20年未満	被災者は、茨城県内の納品先へ納品するため、2トントラックを運転して高速道路を走行していたところ、 <u>右後輪がパンクし、左側のガードレールに接触した反動で横転</u> した。 (交通事故(道路)・トラック)
10	9月	道路貨物運送業 貨物自動車運転者 30歳代 15年以上20年未満	被災者は、4トントラックを運転して夜間に高速道路を走行中、交通事故を起こして車線をふさぐ形で停車していた <u>大型トラックに追突</u> した。 (交通事故(道路)・トラック)
11	9月	道路旅客運送業 乗用自動車運転者 60歳代 15年以上20年未満	被災者は、タクシーを運転して高速道路の左車線を走行中、 <u>後続のトラックに追突され</u> 、タクシーは弾みで追越し車線まで移動して停車した。そこへ、追越し車線を走行してきた <u>自家用車に追突された</u> 。 (交通事故(道路)・トラック)
12	10月	鉄道軌道水運航空業 その他の運転者 40歳代 20年以上25年未満	被災者他1名は、 <u>ヘリコプター(被災者が操縦)</u> を使用して、山間部の登山道整備工事現場へ資材を輸送していた。現場近くの作業用ヘリポートと現場との間を往復して資材輸送していたが、資材を降ろして作業用ヘリポートへ戻る途中、 <u>墜落</u> した。資材を吊り下げるためのフックが機体後部に接触し、損傷させたためと推定される。 (交通事故(その他)・その他の乗物)

13	10月	道路貨物運送業 運転者 40歳代 10年以上15年未満	被災者は、20t タンクローリー（セミトレーラ型）に 19t の荷を積んで、国道のゆるい下り坂を走行していたところ、右カーブを抜けたところで <u>中央分離帯の縁石に接触し、中央分離帯を越えて、さらに反対側車線のガードレールを突き破って、崖下へ約 50m 転落</u> した。縁石に接触した際に右前輪がパンクし、運転が不能となったのではないかと推定される。 （交通事故（道路）・トラック）
14	10月	その他の事業 警備員 40歳代 1年以上5年未満	スーパーマーケットの外壁塗装工事において、被災者は、交通誘導員として建物周囲の歩道で歩行者の誘導を行っていたところ、乗用車が車道上に設置してある <u>交通標識に衝突してその標識が倒れ、その標識の後にいた被災者の頭部に直撃</u> した。 （交通事故（道路）・乗用車、バス、バイク）
15	10月	清掃と畜業 作業員・技能者 70歳代 1年以上5年未満	道路の中央分離帯において、被災者を含む作業員3名と交通整理のための警備員1名で除草作業を行っていたところ、 <u>乗用車が突っ込み、被災者に激突</u> した。その他、作業員1名が負傷し、警備員も死亡した。 （交通事故（道路）・乗用車、バス、バイク）
16	12月	卸売業 営業・販売関連事務員 30歳代 10年以上15年未満	被災者は、東北地方へ出張し、商談終了後、降雪のため速度が50kmに規制されていた高速道路（片側1車線）を車で走行していたところ、路面が凍結していたため右にカーブしている部分で <u>スリップして左側の壁に衝突</u> し、その反動で対向車線にはみ出し、 <u>大型トラックと衝突</u> した。シートベルト着用、スタッドレスタイヤ使用。 （交通事故（道路）・乗用車、バス、バイク）